

セグメント分析に関するワーキンググループ（第1回）の意見

○セグメント分析の実施について

- ・ セグメント分析を実施するにあたっての課題としては、何を共通資産や共通経費と捉えるのか、また、どこまでの範囲を共通と認識するのが重要となる。これらは、対象とする施設や事業によって変わってくると思うが、各自治体の状況等を踏まえて整理する必要がある。
- ・ 地方債、臨時財政対策債、国庫補助金等のいわゆる財源になるもの、あるいは財源になっているものについて、どこまでセグメント別財務書類に計上するのも重要な論点である。取組を進めていく中で、自治体において意思決定を行っていくために、どこまでの情報が必要なのか整理する必要がある。
- ・ セグメント分析の目的に応じた配賦基準等の考え方の整理ということが、今回のWGで取り組むセグメント分析の肝となるのではないか。セグメント分析の目的がアカウントビリティの充実や財務状況の見える化の推進の場合には、それぞれの施設や事業がどのような財務状況かを知っていただくため、人件費や財源、税収等の配賦を行うが、マネジメントの強化や特定の意思決定に使用する場合には、全体でどうなっているかというよりも、どのようなことをやりたいのかに応じて、配賦するのかしないのかも含めて考える必要があるのではないか。
- ・ 今回のWGでは、各自治体におけるセグメント分析の目的に応じて、どういうセグメント分析の方法があるのか、どういう配賦が必要なのか、目的が異なるので配賦する経費の範囲も異なるのか、あるいは共通的に取り扱うべきなのかということ、各自治体でのモデル的な取組も踏まえて、とりまとめる必要がある。